

製造業(食品製造業)に 伴走支援できる IoT 専門人材の育成プログラム



沖縄型産業中核人材育成事業(内閣府)では、業界団体が主体となってそれら知識・技能を体系化し、人材育成カリキュラムの開発及び研修を行い、沖縄県内の人材の抜本的な能力向上を図ることを目指しています。この度は、その一環として取り組む、製造業(食品製造業)に伴走支援できるIoT 専門人材の育成プログラムを紹介します。

① IoT 専門人材の育成プログラム

県内製造業の労働生産性は全国に比べて非常に低く(全国46位)、それが低賃金・競争力低迷に繋がることから、IoT 導入など効率化による労働生産性の向上が求められています。

そのような中、IoT コーディネータ協会はIoT コーディネータ沖縄の協力のもと、事業者数及び従業員数の多い食品製造業者向けのIoT 専門人材の育成を通して、食品製造業者の労働生産性向上を目指した研修プログラムを立案・実施しました。

受講生(ユーザー企業、ITベンダー、IT コンサルタント、支援機関などの各分野から27名)は、5つのグループに分かれて、学び(座学、IoT 導入計画の模倣作成)及び体験(県外の先進企業及び、県内のモデル企業への見学



IoT 導入プレゼンを行う受講生

など)を14日間かけて受講し、最終日には修了試験(IoTの知識、ケーススタディなどを出題)に挑みました。

また、各グループは、モデル企業(県内食品製造業(有)仲松ミート)に対してIoT 導入提案を行うことが課されており、モデル企業の見学、ヒアリングなどを通じてプレゼン準備を進めました。各グループからの提案に対し、モデル企業からは「工場スペースの有効活用についても提案が欲しいと感じるが、すぐに実行できそうなアイデアもあり、全体的にとっても良い提案」など、フィードバックが行われました。

受講生からは、「多様な視点を学ぶことができ非常に良かった。意見を集約する点が大変であったが、ITベンダーだけで作ったものとは違う、利用者目線の入った提案書が作成できた」との感想がありました。



プレゼンに対して質問を行うモデル企業

② 今後の展望

本プログラムを「過性のものにはせず、今後も継続することが、県内におけるIoT 専門人材の育成と労働生産性の向上に繋がると考えられます。今年度IoT コーディネータ協会では、昨年度のプログラムに「講師育成研修の実施など」を追加した内容に磨き上げ、今後も持続的な活用が行われるように充実したプログラム開発にも力を入れたいと考えています。

③ 生産性向上に向けて

沖縄地域では、全国最下位の労働生産性への対策が喫緊の課題となっています。沖縄総合事務局では、効果的な課題解決のためには、IoT などの設備導入に加え、ベンダー企業のAI などの高度人材や、ユーザー企業のIoT 利活用の推進人材の育成などに取り組むことが重要と考えております。今後も様々な企業の皆様方からの提案をお待ちしております。

お問合せ先

経済産業部 地域経済課

☎098-866-1730